

A：達成している B：ほぼ達成している C：取り組みを検討中 D：改善が必要

1.教育理念・目的等

1-1 理念・目的・育成人材像は定められている	A
1-2 学校の特色を理解している	A
1-3 学校の将来構想を抱いている	A
1-4 理念に基づく教育が行われている	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

日本語教育を行う機関として、高度な日本語力を身に付ける日本語指導は当然ですが、国際感覚を身に付けさせ国際的に活躍できるような人材を育成することも重要な使命と考えます。また日本の伝統的な文化の体験などを取り入れ、日本人と心から触れ合うことができるような人材を育成します。

2.学校運営

2-1 日本語教育機関の告示基準に適合している	A
2-2 学校の理念・目的の達成に沿って運営方針が定められている	A
2-3 学校の理念・目的の達成に沿って事業計画が定められている	A
2-4 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっている	A
2-5 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されている	A
2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られている	A
2-7 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されている	A
2-8 危機管理体制は整備されている	A
2-9 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されている	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

地域の公共機関、所轄署（北沢警察署）、保健所（世田谷保健所）とも常に連絡をとり、いつでも迅速に対応してもらえるような体制をとっています。防火防災管理者を選定し、管轄の消防署に届けてあります。進路指導については入学後に学生と個別面談を行い、その後定期的に個別面談を実施して、学生の勉強面ばかりではなく生活面でも相談にのっています。

3.教育活動

3-1 カリキュラムは体系的に編成されている	A
3-2 授業評価の実施・評価体制はある	A
3-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保している	A
3-4 成績評価、進級判定、修了判定は適切に行われている	A
3-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っている	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

日本語習得レベル別に学生の日本語上達に最も適したカリキュラムを作成し、毎週習熟度を確認します。各クラスの担任より必要な指示を出し指導にあたります。学校長・教務主任が毎日授業を見学し、教育の質の向上を図ります。また定期的にクラス別担当教師ミーティングを行います。

4.教職員

4-1 学院長、教務主任、専任教員及び非常勤職員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている	A
4-2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している	A
4-3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している	A
4-4 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取り組みをしている	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

教務主任が専任教員の研修・指導を行い、専任教員が非常勤職員の指導を行っている。また学院長が全体の指導体制を管理している。教務主任・専任教員は外部の研修会や説明会に参加し、教育の質や進学情報を得るようにする。

5.教育成果

5-1 入学から終了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適切に管理している	A
5-2 終了・卒業の判定を適切に行っている	A
5-3 日本留学試験・日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している	A
5-4 卒業または終了後の進路を把握している	A
5-5 卒業生及び終了生の状況を把握するための取り組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

データベースを作成し個人別の管理を行っている。入学から卒業までの出席率・学習成績・進路などを一元管理している。日本留学試験・日本語能力試験の管理は教務で行っている。

6.学生支援

6-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能している	A
6-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能している	A
6-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能している	A
6-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われている	A
6-5 保護者と適切に連携している	A
6-6 卒業生への支援体制はある	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

学生の健康管理・生活支援は事務職員が中心に行っている。担当教師・担任は授業を通じて学生の様子を把握し、変化を感じた時は事務職員に伝達し対応している。保護者に連絡が必要と判断したときは事務職員が保護者に連絡する。学生寮の管理も事務職員が行い、学生が快適な生活ができるよう支援している。

7.在留管理と生活指導

7-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われている	A
7-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われている	A
7-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っている	A
7-4 常に最新の学生情報を把握している	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

入学時に全体での説明会を行い、学校の規則・日本の法律など日本で生活する上で必要なことを伝えている。北沢警察署の職員が説明会で日本の法令について話をすることもある。また毎日の授業を通してマナーや生活面での注意事項を指導している。

8.学生の募集と受け入れ

8-1 学生の受入方針は定められている	A
8-2 学生募集活動は、適正に行われている	A
8-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている	A
8-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている	A
8-5 適正な定員設定及び在籍者数になっている	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

学生募集活動は決められた担当者が方針に従って行っている。教育成果についても正確な情報を伝えている。在籍者数は定員に合わせて、年間計画に従って募集をしている。

9.財務

9-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる	A
9-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている	A
9-3 財務について会計監査が適正に行われている	A
9-4 財務情報公開の体制整備はできている	C

<現状・具体的な取り組み／課題>

1958年創業の教育専門会社であるので、財務基盤は大変安定している。毎年会計士による監査がある。上場企業ではないので財務情報公開はしない。上場すれば公開をする。

10.法令等の遵守

10-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている	A
10-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	A
10-3 自己点検・自己評価の実施と、問題点の改善に努めている	A
10-4 自己点検・自己評価結果を公開している	A
10-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施している	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

法令・設置基準を順守し適正な運営を行っている。関係省庁への定期報告を遅延なく実施している。常時自己点検・自己評価の問題点の改善に務めている。

11.社会貢献

11-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っている	B
11-2 学生のボランティア活動を奨励・支援している	B

<現状・具体的な取り組み／課題>

校舎などを活用した社会貢献は依頼があれば積極的に行う予定あり。学校の掲示板にボランティア活動のポスターなどを貼り出し案内をしている。